

# 道徳学習指導案

5年1組

- 1 主題名 自由とは (A-善悪の判断、自律、自由と責任)
- 2 資料名 「うばわれた自由」
- 3 わらい それぞれの自由を主張する森の番人ガリユーと王子ジェラルルの姿などを通して、「本当の自由」とはどのようなものかを考えさせ、自由に伴う責任の大きさを感じ取り、自律的でせきにある行動をしようとする判断力を育てる。

## 4 本時の指導計画

過程	学習活動と内容	◇指導上の留意点☆学習状況の把握
導入	<p>1.自由について感じたことを出し合う。</p> <p>○「自由っていいな」と思ったことはありますか。それはどんなときですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームをしたり、動画をみたりしてしたいことを好きなだけしているとき。</li> <li>・叱られずに、したいことをしているとき。</li> <li>・制限されずに、自分でなんでも選べるとき。</li> </ul>	<p>◇自分勝手な行いや利己的な行動であっても、この時点では受け止め、「自由とはそういうものかな。」と投げかけることで、問題意識を喚起し、本時の学びのテーマにつなげる。</p>
展開	<p>2.「うばわれた自由」を読んで、話し合う。</p> <p>①「おまえも自由にくらしてみろ。」とガリユーに言ったとき、ジェラルル王子は、どんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由は最高だから、ガリユーも味わえばいい。</li> <li>・ガリユーもきまりがない生活を送ったら、自由がいいと思うはず。</li> <li>・人生は1回だから、好きなことをするのがいい。問題がおこらなければ、それでいい。</li> </ul> <p>②ガリユーに「あなた方が言っている自由とは(略)わがまま勝手というものです。」と言われたとき、ジェラルル王子はどんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分がしたいことをしているのが、そんなに悪いことなのか。</li> <li>・王子に向かってわがまま勝手とは、ひどい言い方だ。</li> </ul> <p>③はらはらと涙を流したジェラルル王は、どんなことを考えたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガリユーの忠告をしっかり聞くべきだった。</li> <li>・わがまま勝手と言われた理由がよくわかった。責任ある行動が必要だった。</li> </ul> <p>④「本当の自由」とはどんなものか、グループで交流しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他人や周囲に迷惑をかけないかをよく考えたうえで、自分のしたいことをすること。</li> <li>・思うままに行動するとわがままになるので、自分の行動がどんな結果になるか考えて責任をもって行動すること。</li> </ul>	<p>◇「自由」をわがまま勝手することと混同している、ジェラルルの考えを捉えさせる。</p> <p>◇わがまま勝手という表現に注目し、したいと思ったことをそのまますることが、なぜわがままと言われるのかと、不満を感じるジェラルルの心の内を考えさせる。</p> <p>☆本当の意味での自由とはどのようなものかについて、意見の交流などを通して、さまざまな角度から考え、見方を広げている。(ロイロノート、発言)</p>
終末	<p>3. これまでの自分を振り返り、今後の自分について考える。</p>	<p>◇学校や家庭、友達と過ごすときなど、具体的な場面を考える際のヒントとして与えながらジェラルルの行動を通して考えてきたことを、自分の生活に結び付けて考えさせる。</p>

評価：自由に伴う責任の大きさを実感し、自律的で責任ある行動をしようとするについて考えているか。